



# 町民のために “生かせ予算”

3月議会は「予算議会」とも言われ、1年間の町の予算を決める大切な議会です。特別委員会・常任委員会において、各議員から財政に関するご意見や質疑が数多くなされ、賛成多数により原案可決されました。ここでは、委員会での主な質疑を掲載いたします。

## 事業策定の進め方

**問** 総合振興計画の策定、まち・ひと・しごと総合戦略策定・公共施設等総合管理計画策定の、今後の進め方を伺う。

**答** 基本的に1年で作成してまいります。総合振興計画策定は、業務委託を考へていますが、審議会の意見や町これまででの取り組み、将来的な方向性については、できる限り直営で行いたいと考えています。また、総合戦略策定については、総合振興計画とリンクする部分がありますので、同時に計画策

## 工場立地促進奨励金の今後の活用

**問** 商工業振興費の増は、主に工場立地促進奨励金と思われるが、町の持ち出しが多く負担が大きい。交付期限を延ばして町で優遇措置を継続しなければ企業は来ないのか。

**答** 工場立地促進条例による奨励金は、農工計画変更も視野に入れて優遇措置を変更しています。立地される工場側も立地当初は負担が大きく経営が軌道に乗るまでの間、当奨励金を有意義に活用いただきたいと考えます。今後も優良企業の誘致に努めていきます。

## 企業誘致と町の体制強化

**問** 農工推進室にて、企業誘致を推進するに当たっては推進力が必要と考えられる。町の決意をお聞きしたい。

定を進めていきます。

公共施設等総合管理計画策定は、専門的な知識が必要となるため、コンサルに委託した策定を考えています。

## クラウド化の効果

**問** クラウド化により、費用が減少すると聞いているが伺う。

**答** 前年度までは各課で計上していた委託料を情報化推進事業に取りまとめたことにより、運用開始から5、6年先には効果が出るかと考えています。

## 緊急通報システムの機能と管理方法

**問** 新規の緊急通報システムのセンサー型とは、どのような機能なのか。また、

**答** 町の均衡のとれた発展のため、農工推進室により全力で取り組んでいきたいと考えています。

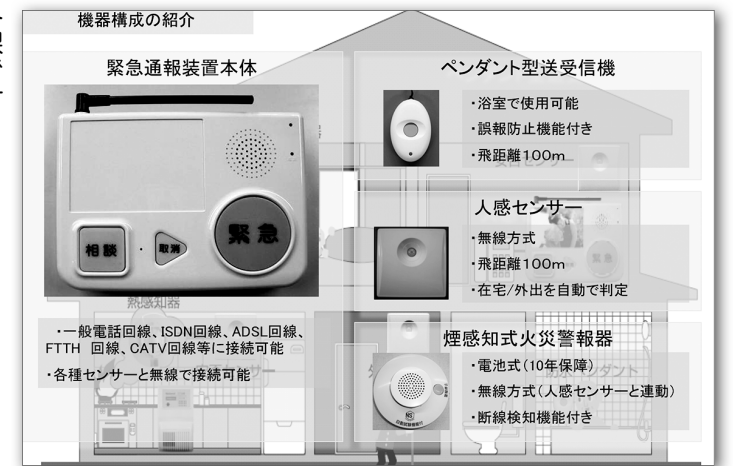
## スマートICの進捗と今後の予定

**問** スマートIC整備事業の進捗状況は、どうなっているのか伺う。

**答** 現在、県道本庄寄居線までのアクセス道路、町道1級10号線の用地買収を進めています。地権者が事業に協力的であり、今日現在、面積ベースで97%の用地が取得できました。残りの地権者の方からも問



スマートIC アクセス道路下部工



緊急通報システムの図解

住民への周知方法とメンテナンス方法を伺う。

**答** 人感センサーで人の動きに反応しますので、寝たきりでない方に有効です。周知は広報やホームページ等で行います。業者委託となるため、メンテナンスも委託業者が管理します。

もなく協力いただけると思っています。来年度は道路工事や、橋梁の上部工を滞りなく実施できると思います。寄居方面アクセス道路は、線形について地元との調整で時間を要し、まだ用地測量を行うことができていません。今後については関係機関と協議が必要ですが、予定の開通には問題ないと考えています。

## 公民館付属設備使用料と利用者への注意

**問** 新規の公民館付属設備使用料（エアコン使用料1時間100円）は、消し忘れ対策や温度管理が必要として説明されたが、利用者への注意や消し忘れ回数を調査したのか伺う。

**答** 回数までは調査していませんが、エアコンに限らず照明の消し忘れが、頻繁な回数があったと担当より報告がありました。利用者への注意に関しては、その都度担当より連絡しています。

## 反対討論

ど生活環境対策が不十分です。働く場所を確保する施策や、若者が定住するまちづくりの予算がありません。町民の文化向上や芸術に触れる機会を高める予算や、伝統芸能等を充実させる予算もありません。町民の暮らしや生活を守る立場で、美里町ならではの魅力を高め、町民本位の町政を実現する予算ではないので反対します。

消費税8%への増税等で町内商店や中小事業者の生業は厳しく、雪害や米価下落で基幹産業の農業など町の経済は疲弊していますが、支援もなく町の農業を守る農業振興計画に基づく事業の予算や農業・商業を守り育てる施策がありません。人口を増やすには、美里町の有利な自然環境と合わせ、「子育てするなら美里町で」というスローガンが掲げられる施策が必要です。道路陳情も放置され、道路が未整備のままです。不法投棄、悪臭・煤煙な

推進室を設置し、企業誘致による雇用の創出に努めると積極的な施策であります。平成27年度は、「美里町第5次総合振興計画」と「美里町まち・ひと・しごと総合戦略」の策定年度に当たります。取り組みをしっかりと検証した上で、持続可能な財政運営とメリハリの利いた6つの柱の事業を基本に限られた財源で効率的な取り組みに期待し、厳しい財政状況の中ではありますが、適切な予算であると申し上げ、賛成討論とします。

## 賛成討論

現在、我が国を取り巻く環境は、平成26年4月より実施導入された消費税率8%の引き上げに伴う影響を受け、日本経済は大きく変動しています。当町においても、「寄居PAスマートIC」関連事業では、アクセス道路の建設費を4億9,959万1,000円計上し、道路の築造や橋りょう工事を行い、これと並行してインターチェンジ接続後のまちづくりを見据えた産業団地や企業誘致につなげるため、農工

